

平成28年度

事務事業評価表 A (平成27年度の実績評価)

記入年月日
平成 28 年 4 月 1 日

Table with columns for 事務事業名, 事業区分, 担当, 政策体系, 予算科目, 法令根拠. Includes details for '下水道の整備' and '公共下水道事業'.

(Do) 1. 事務事業の現状把握(その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像) and ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順. Includes details about sewerage improvement plans and agreements.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with columns for ①手段, ②対象, ③意図 and various indicators (活動指標, 対象指標, 成果指標) with data for 26-30 years.

(3) 投入量(事業費)の推移

Table showing input amounts and costs for 26-30 years, categorized by 事業費 (事業費内訳) and 人件費 (人件費).

Table showing the breakdown of business expenses (事業費の内訳) for 27 and 28 years, including 委託料 (commission fees).

(4) 当該年度の実施内容

Table detailing implementation content for 28, 29, and 30 years, including a list of main activities and a flow arrow pointing to the right.

事務事業名	汚水処理施設整備計画見直し事業	事務事業No.	40701000118	所属課	下水道課
-------	-----------------	---------	-------------	-----	------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 平成18年度の県の流域別下水道整備計画、平成19年度の生活排水プランの改定作業開始から集合処理、公共下水道・農集排事業と個別処理、合併浄化槽の費用比較だけでなく、市の財政状況に応じた案が提出できるようになった。	
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? 投資効果に見合わない区域については、公共下水道の区域を縮小し、合併浄化槽で整備することが良いという意見があった。	
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容 生活排水プランの見直しを実施したことにより、市では財政状況を鑑みて、多額の公共投資を必要とする公共下水道を縮小して合併浄化槽を拡大させた。	

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	総合計画に、汚水処理施設整備計画に見直しと明記されている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	汚水処理施設整備計画改定は、市民の税金や受益者負担金を預かっている市行政が行わなければならない重要な事務である。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input type="checkbox"/> 向上余地がない	整備面積の訳3割の縮小をしたばかりで向上の余地はない。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有	計画の改訂を行わずに、バブル期に策定した計画に基づいて下水道を進めていけば、下水道の整備が市の財政をますます悪化させる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない	具体的手段、事務事業名 本事業について、今後行う事務は既に策定した改定について流域構成市と協議するだけなので、さらに事業費を削減はできない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input type="checkbox"/> 削減余地がない	本事業について、今後行う事務は既に策定した改定について流域構成市と協議するだけなので、さらに事業費を削減はできない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	おもに行政内部の事務なので、受益者機会等の評価はできない。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																											
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	桜川市では市の財政状況を踏まえ多額の投資を必要とする公共下水道を縮小して合併浄化槽を拡大する。人口減少や高齢化等の社会状況の変化に合わせて、市民がより安い経費で効率的な汚水処理ができるようにする。																											
③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																												
(3) 今後の事業の方向性																													
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止																													
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下								
		コスト																											
		削減	維持	増加																									
成果	向上																												
	維持		○																										
低下																													
(6) 事務事業優先度評価結果		⑦																											
成果優先度評価結果		⑦																											
コスト削減優先度評価結果		⑥																											

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input checked="" type="checkbox"/> 確認